

## デジタル・シティズンシップ教育部会 授業実践

令和4年12月19日(月) 6年2組 授業者:杉山 晴生

教科等:学級活動 題材:自分のメディアバランスを見つけよう 本時:1/1

単元の目標:健康とバランスのとれたメディア利用の計画を作り、自身の行動の見直しをもつことができるようにする。

### 1 部会の目標

責任を持って情報技術を用い、人権と尊厳を尊重した社会参加を実践する能力を育てる。

### 2 本時の学習について

#### (1) 児童の実態

- 平日のメディア利用の状況を見ると、YouTube等のSNSを見ていることが多い。
- テレビの時間は少ない。
- いくつかのメディアを組み合わせて使っている。
- メディアを組み合わせた使用時間が長い。

#### (2) 目指す児童の姿

- メディアバランスについて考え、メディアの使用時間について自分なりにバランスをとって使うことができる。

#### (3) これまでの取組

- メディアの使用時間について調べてくる。

### 3 授業における手立て

- 「メディアバランス」の言葉の意味を知り、自分の調査から自身のメディアバランスについて振り返られるようにする。
- 交流を通して、友達の意見も聞きながら、メディアバランスについて考えられるようにする。

### 4 成果と課題

- 子どもたちは自身のメディア使用の時間について、事前に調査してくることを通じて、自身のメディアバランスのとり方についてスムーズに授業に入っていくことができた。
- メディアのバランスのとり方について考える場面で、一人で考える場面と交流する場面の2種類を設定したことにより、一人では気付かない面や友達のメディア利用についての考えなどについても思考を深めることができた。
- 「どのメディアをどの程度使うか」についてワークシートに記入させたが、それでは実行に難しい面もある。時間ごとに区切り、タイムスケジュールのような形で考えさせ、実効性を高めていく方が子どもたちの学びになるのではないか。
- 「メディアバランス」の言葉が、子どもたちの思考に今一つ落ちていなかった。
- もっと健康に焦点を当てた実践を行い、子どもたちが有意義にメディアを使っているようにしたい。